



新潟県 地域おこし協力隊 シンポジウム

Re: 地域おこし 協力隊

2026年

3/10 火
13:30 - 17:00
(13:00 受付開始)

新潟県庁 西回廊 講堂
新潟市中央区新光町4-1
+
オンライン
※第一部のみ

地域おこし協力隊の制度開始から17年。当初の「地域密着型」から「広域で活動するミッション型」に主流が移り変わる一方で、総務省は要綱を改正し、地域協力活動の重要性を再強調する「原点回帰」を進めています。当ネットワークの調査でも「地域への深い入り込み」が信頼を築き、地域と協力隊のその先に影響を及ぼすことが見えてきました。これからの制度をどう捉え、運用すべきか。第一線の有識者を招き、ともに考えます。

プログラム

- 13:30-15:00 | 第一部 | 対面+オンライン
・実践研究報告・問題提起
・公開討論
- 15:20-17:00 | 第二部 | 対面のみ
・グループディスカッション
・アドバイザーコメント

協力 新潟県知事政策局 地域政策課
一般社団法人北陸地域づくり協会

主催 新潟県地域おこし協力隊サポートネットワーク

“広域で活動するミッション型”
全盛時代に新潟から問う、
協力隊制度の原点——。



アドバイザー



黒田直也 | くろだ・なおや

法政大学現代福祉学部 教授

博士(農学)。財団法人日本農業研究所研究員、法政大学現代福祉学部専任講師、准教授を経て、2016年より現職。専門分野は、農山村政策論、地域資源管理論。主な著書に、「『農村発イノベーション』を現場から読み解く」(筑波書房、単著)、「プロセス重視の地方創生」(筑波書房、共著)などがある。



伊藤太郎 | いとう・たろう

徳島大学大学院 教授

博士(工学)。早稲田大学理工学部建築学科、同大学院修了。小田原市政策総合研究所特定研究員、早稲田大学助手、新潟工科大学准教授、徳島大学准教授を経て現職。主な協力隊関連著書に「地域おこし協力隊10年の挑戦」(農文協、共著)、「『地域おこし協力隊』は何をおこしているのか?」(星海社新書、単著)などがある。



谷垣文彦 | いながき・ふみひろ

公社)ふるさと回帰・移住交流推進機構
事務局次長

博士(工学)。専門は、災害復興と地域づくり。外部人材を活用した新たな内発的発展論を展開し、地域づくりにおける住民の主体形成プロセスを研究。国の地域おこし協力隊、集落支援員、関係人口の施策等の普及、人材育成等に尽力。主な著書として「震災復興が語る農山村再生 地域づくりの本質」(コモンズ、共著)などがある。

報告・問題提起

金子知也 | かなこ・ともや

にいがたイナカレッジ マネージャー

パネリスト

小山友誉 | こやま・ともたか

一社)里山プロジェクト 代表理事

ファシリテーター

阿部巧 | あべ・たくみ

にいがたイナカレッジ センター長



申込方法

- 対象**：第一部 | どなたでもご参加頂けます
第二部 | 自治体担当職員、地域や地域おこし
協力隊サポート人材、
協力隊受入検討中の地域・団体など

定員：会場 50名 + オンライン 50名

申込方法：QRコードや下記リンク、メールよりお申し込みください
<https://forms.gle/2L2LagQuVL9JBuat5>

申込締切：3/5（木）17:00まで

申し込み
フォーム



お問い合わせ先

新潟県地域おこし協力隊
サポートネットワーク事務局
担当：金子・石塚
niigata.kyouryokutai@gmail.com

サポート NW
ウェブサイト



本企画は一般社団法人北陸地域づくり協会「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業「『信頼』に基づく地域おこし協力隊のキャリア形成モデルの探求」および新潟県「地域おこし協力隊活用促進事業」の一環として実施します